

平成20年度局配分枠予算について

教育委員会

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

教育委員会では、新しい時代を拓く子どもたちに「確かな学力」と「豊かな心」、「健やかな体」を育む学校教育と、世代を超えて地域で学び合う生涯学習において、全国をリードする教育改革に取り組んでいる。20年度においても、厳しい財政状況のもと、すべての事業経費をゼロベースから見直すとともに、正規職員が実施している業務の嘱託化・職員数削減などの効率化を進めながら、幅広い市民ボランティアや大学、経済界等の参画のもと、さらなる教育改革の推進と、京都創生策などの本市基本計画をふまえた事業展開を図る予算案とした。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【当初予算計上】

ジョイントプログラム	28,303 千円
第9回国際マンガサミット京都大会	96,800 千円

【肉付補正予算計上】

小学生の長期宿泊・自然体験活動	18,600 千円
「京都市子ども読書活動推進計画」次期計画策定	3,000 千円
「親の学び」育みプログラムの策定・実践	3,000 千円
「子どもを取り巻く緊急課題語り部講座」開催	2,000 千円
全市版PTAハンドブック発行	3,300 千円
源氏物語千年紀事業「特別展 源氏物語と平安京」	5,867 千円

<充実事業>

【当初予算計上】

学校評価システム支援事業 全体事業費 12,493 千円（うち充実分 10,163 千円）

【肉付補正予算計上】

学校運営協議会設置校拡大 全体事業費 14,136 千円（うち充実分 2,814 千円）

サイエンス・コラボ・ティーチャー配置拡大
全体事業費 22,800 千円（うち充実分 4,800 千円）

「学校ふれあいパーク」実施校拡大
全体事業費 8,000 千円（うち充実分 3,000 千円）